



月刊 千葉労働動力

国鉄千葉動力車労働組合

〒280 千葉市要町2番8号(動力車会館)

電話 (鉄電) 千葉 2935・2936 番
(公) 千葉 (22) 7207 番

92.2.13 No. 3538

2・21ストライキへ!

九二。三ダイ改はそのII

問題が山積している

会社は誠意ある団交を行え

「九二・三ダイ改の」
重大な問題点

千葉支社当局は、今次提案にあたり、あえて「今回はホドホド、次期ダイ改では徹底的にやる」と前置きし、運転関係について概ね六点にわたり提案してきた。その問題点を再度はつきりさせよう。

① 勤乗勤改悪及び「時短」実施に伴う要員の見直しについて。

動力車乗務員は、勤乗勤改悪に伴って一日平均乗務キロは、のきなみ延びているにもかかわらず、一日平均労働時間は一時間九分が消えて無くなってしまっている。また、乗務員の労働時間の限度(七時間十分)まであと三九分の乗務を強制できるというのである。

準備時間についても、館山運転区に典型的に見られるように「朝起きて九分で乗務しろ」というものである。その上で、今後のダイ改でさらに徹底した労働強化を押し付けてくることは目に見えている。われわれは、JR総連革マルの勤乗勤裏切り妥結の犯罪性を徹

底弾劾し、「時短」という名の労働強化を許さず闘いぬかなければならない。

② 幕張電車区構内及び仕業検査における限定免許の拡大について。

今次提案で、幕張構内運転業務に「限定免許」を拡大し三名を削減するというものである。この間構内運転業務は、動力車乗務員の高齢者対策として位置付けるべきであると主張してきた。しかし、当局は、切実な要求に耳をかさず、高齢者対策など何ひとつ考えていないことを表明し、逆に「身体がもたなければ辞める」と開き直った態度に出ているのである。限定免許の拡大は、構内や地上勤務の大合理化の突破口であり、断じて許せるものではない。

③ 一の宮派出業務と駅構内業務の融合

提案だと、一の宮駅における分割・併合作業の誘導合図を廃止し、一の宮派出の車両技術係一人で行わせようというのである。合理化のために駅構内での分割、列車移

反戦共同行動委員会

PKO粉砕へ九二年第一波を叩く

関東ブロック反戦討論集会開催(2/11)

二月十一日、国労会館において反戦共同行動委員会主催の「反戦問題提起を受け熱の入ったフリー討論集会」が開催され、関東圏から三四二名が結集して、九一年の闘いと九二年の闘い、総括と九二年の闘い、とりわけPKO法案粉砕へ全力で総決起することが確認された。

集会は、北富士忍草母の会、三里塚反対同盟の連帯あいさつの後、「部落解放同盟全国連合会」結成を目指す解放同盟の仲間から「三月一日全国から大阪に結集してもらいたい」と熱烈なアピールが訴えられた。



激震の92年を全力で闘い、
自衛隊の海外派兵阻止へ!

動作業を駅長の指示なしに勝浦運転区の技術係が行うという、指揮命令系統を無視したやりかたである。重大事故と死傷事故にもつながりかねない重大問題である。

その他、④幕張電車区佐倉派出の廃止、⑤銚子運転区の指導員増、⑥千葉車掌区安房鴨川支区管理体制の見直し、がある。

「JR総連にクサビを打ち込むストライキを」

